

2012年10月研究会（中部地区）

日 時：2012年10月23日（火曜）18:00～19:30
会 場：名古屋商科大学大学院 伏見キャンパス 2階 E21 教室
講演者：森田 浩太郎（栄精工(株)・S-SEIKO(株) 両社代表取締役）
演 題：『家業から企業への挑戦』
司 会：齋藤孝一（名古屋商科大学大学院教授）
主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

講師プロフィール

森田 浩太郎（もりた こうたろう）



—報告者プロフィール—

1970年 名古屋出身
1992年 日本大学文理学部卒業
一般事業会社勤務を経て
1998年 栄精工株式会社 入社
2005年 S-SEIKO 株式会社 設立（人材紹介事業）
2007年 栄精工株式会社 代表取締役就任
2011年 SAKAE-SEIKO VIETNAM 設立（現地法人）
2012年 ベトナム工業団地レンタル事業開始（ベトナム不動産会社設立）
直近では、あいち産業振興機構主催の講演会にて海外展開講師を担当。
現在、2週間ごとにベトナムと日本を往来する生活を6年間続けています。

<講演要旨>

昭和25年創業の金型工場の3代目後継者であった森田氏は、2代目(父)との経営に対する考えの違いから、自らの信念をもとに新会社S-SEIKOを設立。単身ベトナムへ渡り、ベトナム最大手の人材送り出し機関SULECO（国営）とのタイアップによりベトナム初のベトナム人技術者養成クラスの開設に至った。ホーチミン工科大学、ホーチミン師範大学等、上位有名校の工科系学部学卒者の中から優秀な人材を選り、日本人技術者が直接指導を行うことにより、生活レベルの日本語は勿論のこと、機械分野の専門用語、機械操作を習得した技術者を輩出。日本のモノ作りを支える製造業各社の要望に応えるハイレベルな人材の育成・紹介を可能にした。この海外事業の成功を契機に、家業である金型の設計・製造業を父から承継し、家業からの脱却、企業としての成長・発展に挑戦している。親子間の相克の原因・解決の糸口等、親族承継特有の課題について、赤裸々に語っていただきました。

研究会参加者：47名